



陽光

令和6年9月30日 第12号 文責 梶原 圭一



素敵な交流ができました！

菊陽町では、平成8年から国際化時代に生きる人材育成を目的として、オーストラリアのバックスマーシュ・グラマー校との国際交流事業が行われています。新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響で、ここ数年交流が進められない状況にありましたが、本年度から再開されることになりました。この度、バックスマーシュ・グラマー校の生徒11人と指導者3人が来町され、町内の各家庭にホームステイをしながら日本文化のすばらしさに触れる活動が行われました。その一環として、町内の小中学校にも訪問され、子どもたちと交流活動が行われました。本校では、5・6年生の外国語の学習活動として、互いのことを紹介し合いながら交流を深めました。

昔遊びやゲームでの交流は大変盛り上がり、互いに歓声を上げながら楽しむ姿がありました。最後は、来校された方々にサインを求める子の行列ができるほど親睦を深めていました。他国の方のやさしさや考え方に触れることは、グローバルな社会を生きる子どもたちにとって、とても大切なことだと感じました。



友だちの気持ちに寄り添う大切さを感じて

本校は、すべての教育活動の根底に人権尊重の精神を据え、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める大切さを理解するとともに、態度や行動で表すことができる子どもたちを育てていくことを中心に据え、学級経営や授業づくりに取り組んでいます。特に、子どもたち同士の対話や、友だちの意見を受けて自分の考えや感想を述べる学習活動を大切にしています。

教材を通して、日頃の自分たちの見方や考え方、言動等を振り返る人権学習も積極的に取り組んでいます。町内の先生方にも授業を公開し、様々な視点から意見やアドバイスをいただく中で、子どもたちの心に響く授業になるよう、日々努力しているところです。今月も4年生と6年生で、講師の先生をお招きし、人権学習の授業を公開しました。身の回りの不合理な出来事に目を向けるとともに、自分の中にある偏見や差別の心と向き合い、友だちの思いとつながり合うなかまづくりにつなげていきたいと思ひます。

◆◆◆ フードシフト 日本の食の未来を守るために大切なことは? ◆◆◆

5年生で、社会科の研究授業が公開されました。「フードシフト 日本の食の未来を守るために大切な考えは何だろう」という大変難しい課題の解決に向けて、子どもたちが考えていました。「安全」「安定」「品質」「環境」「農家」の視点から意見を交換し合う中で、改めて、日頃食べているものの大切さを実感させられる授業でした。



<今後の主な予定>

10月 8日 (火)	オープンスクール	10月17日 (木)	後期始業式 (給食なし)
10月11日 (金)	前期終業式 (給食なし)	10月29日 (火)	就学時健診 (給食なし)
10月15日 (火) ~ 10月16日 (水)	秋季休業日		